標準小作料改定される

農地の貸し借りは正規のルートで

本村の標準小作料は昭和四十九年に設定されましたが、その後三ヵ年を経過し、さらには生産費並びに農産物の価格等標準小作料の設定の基礎となった重要事項に変動を生じ、標準額が実態にそぐわなくなったため、改定すべく今年一月頃からその作業をすすめてまいりましたが、二月には横越村小作料協議会（構成は、貸手代表五人、借手代表五人、学識経験者五人、計一五人）に諮問され、二月に入り答申がなされました。

本会では更にその答申に基づいて慎重に検討した結果、別表のとおり決定されましたこの新しい標準小作料は、昭和五十三年三月十三日以降に契約されるものに適用されます。

又、農業委員会が勧告する範囲は設定時と同じく、標準額の三〇％を上回った場合です。（農地法第二四条の三）従って別表の標準額の三〇％の範囲内で当事者の話し合いで決めることになります。

尚、現在の統制小作料については昭和五十五年九月三十日をもって撤廃となります。

くわしい事は農業委員へおたずね下さい。

農地の区分及び小作料の標準額（水田）
（10a当り）

農地の区分	地域	小作料の標準額	備考
第1地区	焼山の旧河川、藤駒の浦田、浦郷大谷内を除く村内全域	円 40,000	収量 540kg
第2地区	浦田、浦郷、大谷内地区	32,000	480kg
第3地区	焼山の旧河川地区	30,000	420kg

カルタと餅つき大会

横越下部落の子供会では二月十日部落の会館でお楽しみ会を開催しました。

お楽しみ会の初めには必ず「話合い」をもつ、学校、地域、家庭の事等。今日は、「雪道通学」について話し合う「雪道で危険を感じたことはないですか」「全然！」と子ども達は元気そのもの。

高学年は百人一首、低学年はカルタやトランプに興ずる子ども達の熱狂さに参加した父兄もすっかり魅せられ「おれことも入れてくんなせや。」とおばあちゃん達が、地域の孫達と腕を競いあう。

十一時も過ぎてそろ〳〵おなかの空いて来た頃父母の「餅米もふけたようだが……」の一声で「お！お！つこう！つこう！」とみんな意気盛んである。

子ども達は各々準備態勢に入る。父兄の目つぶしが終ると高学年の男子はかわるがわるに「ヨイショ！ヨイショ！」のかけ声勇ましく二杵づつ、つきまくる。

低学年は行儀よく座り、目を白黒させて見つめている。最後はやはり父兄の力で美事な餅が出来上る。

早速ナベに入れ、高学年の女子は上手にちぎり、キナコをまぶして椀に入れる。子ども達は瞬時も早く食べたい一念が、みんな行儀よく円座をつくって待っている。キナコ餅はおいしそうな芳香を立てながら、子ども達の手によって配膳される。

部落長の「いただきます」に合唱し、みんなで御馳走になる。

今日の参加人員は、子ども四十八人、大人を入れて総勢六十八人である。今の子ども達は餅類を好かないと言うものの、おなかは満腹のはず、子ども達の夢はもはや「六年生を送る会」にと先走っている。

ヨイショ、ヨイショ

横越村の人口
（53年2月末現在）

総人口8,467　うち男4,127 女4,340
世帯数　1,868世帯
2月の動き　出生 8　死亡 4　転入 12　転出 9

おめでた（2月の出生）

新生児	親名	地区
石川　恵美	六郎	横越下
小野塚良行	良策	木津中
羽賀　祥高	忠司	横越上
山田　友和	徳弥	木津中
遠藤　智弘	光男	二本木中
小川　淳子	繁	横越中
渡辺　秀仁	秀範	横越下
板垣　良子	仁栄	沢海中

およろこび（2月の結婚）

新郎新婦	地区
「畠山」秀巳	新潟市
永井　一子	横越上
阿部　力	横越下
「須田」良子	安田町

おくやみ（2月の死亡）

故人	年令	地区
田辺寅之助	83	沢海上
今井　リセ	86	木津中
渡辺　キソ	86	横越下
浅見　イソ	83	沢海下

国民年金だより

忘れていませんか　国民年金

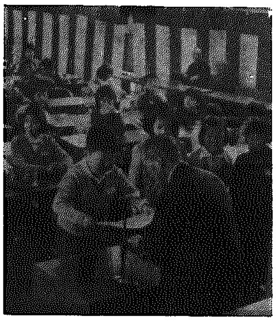
春は卒業や進学、そして就職、転勤などのシーズンを迎え、わたしたちはあわたゞしい毎日になります。人はとかく忙しさに追われると、ふだん気をくばっている大切なことをうっかり忘れてしまい気がついた時にはもう手遅れになっていたなどと、いうことがよくあります。このようなことを繰返さないよう前もって計画的に物事を進めたいものです。特に国民年金はわたしたちの生活の基礎と言える重要な事柄ですから、生活事情が変ったとき、たとえば、国民年金に加入していた人が工場や会社に勤めた時は「国民年金被保険者資格喪失届」を、逆に工場や、会社をやめた時には「国民年金被保険者資格取得届」をすみやかに役場に届け出なければなりません。これらの手続きは、年金に加入している人にとって、保険料を納めることゝ同様に大切なことです。この手短かな手続きを怠ったばかりに、将来、年金が受けられないともありますのでご注意下さい。

小林ひろみさんらが優勝！

～～商工会珠算競技大会～～

第二回商工会主催珠算競技大会は村の協賛を得て、去る三月五日（日）公民館講堂に於て開催された。

当日雲一つない好天に恵まれ村内の小学生八十八名が参加総合競技、読上算、読上暗算見取暗算の各種目で熱戦を展開した。特に種目別競技には同点決勝が多く生徒達は電算機並みの速さで真剣にソロバンに向っていた。競技終了後、各学年各種目別の入賞者に対し、表彰状や、副賞のトロフィー、楯などが贈られ盛大なうちに終了した。



表彰状を受ける　雨田幸雄くん

珠算競技大会成績表

種目		小学6年	小学5年	小学4年	小学3年
団体総合	優勝	荒井珠算塾	荒井珠算塾	佐藤珠算塾	佐藤珠算塾
	2位	佐藤珠算塾	佐藤珠算塾	荒井珠算塾	荒井珠算塾
個人総合	優勝	小林ひろみ	片山千賀子	加藤　真帆	市村　誠
	2位	串田　信宏	茅原美代子	三浦　牧江	宇野　均
読上算	優勝	阿部　竹子	石塚　美和	加藤　真帆	雨田　幸雄
	2位	市村　靖子	茅原美代子	三浦　牧江	神田恵美子
読上暗算	優勝	阿部　竹子	片山千賀子	佐藤　英俊	雨田　幸雄
	2位	土田　昇	石塚　美和	栗原留美子	市村　誠
見取暗算	優勝	小林ひろみ			
	2位	市村　靖子			

「人生は旅である」と餞けの言葉

横中第31回卒業式

横越中学校の第三十一回卒業式は三月十四日、同校体育館で挙行された。あいにく寒い日ではあったが、村長さん名誉村民の伊藤威夫さんはじめ、多数の来賓や父兄の方々のご出席を得て、盛大な式であった。

本年の卒業生は男子五十七名、女子六十七名の計百二十四名で、大部分の生徒は高校へと進学する。

学校長より、卒業生徒ひとりずつに卒業証書を手渡されたあと、謙虚で誠実な人間となって他人から信用されるようにと餞けの言葉にそえて、さらに若さと勇気をもってするならば洋々たる前途が開けるものであるとしめくゝられた。祝辞の中で、村長さんより、故郷を忘れない人間性豊かな人になってもらいたいと次代の横越をになう卒業生にこんこんと話された。

横越小学校の校長先生からは、人生は旅である。新しい旅に向って出発するのだと励まされた。なお、雪の原を歩くときは遠くを見なければ道を失う。足もとを見なければ障害物にぶつかってしまう。卒業後は希望をもって、足もとから一歩一歩前進してほしいものだと、わかり易い例で述べられた。

式も進み、在校生代表伊藤英明君の送辞、卒業生代表田中裕美子さんの思い出をつらねた答辞があり、卒業式の気分は盛りあがるとともに、万感胸に満ちて頭を垂れる卒業生の姿が目立つ。答辞のさい思わず拍手をしたくなったり「ガンバレ」と叫びたくなるのを我慢するのが精一ぱいであった。涙にむせぶ生徒を校門より父兄ともども送る姿はいつものことながら中学校ならではの光景といえよう。

（文責　真水）

銃砲刀剣類登録審査会日程

―（昭和五十三年度）―

○会場　新潟地区合同庁舎

○開催月日
四月十七日
六月十五日
九月十八日
十一月十五日
一月十六日
三月十五日

時間　午前十時～午後三時

○登録申請者が登録審査会に持参するもの

①登録を受けようとする銃砲刀剣類。

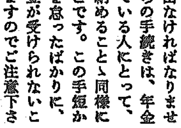
②所轄警察署から交付を受けた銃砲刀剣類発見届出受理証。

③登録手数料一件につき五〇〇円（新潟県収入証紙で納入する。）

④印鑑。

○その他

①登録審査会で登録手続等を行う者は、登録申請者本人であることが望ましいが、事情により代人が行う場合は登録申請者の家族又は責任ある者が行うこと。

②銃砲刀剣類の現物を持参する場合は包装に十分注意し、危険のない状態で持参すること。

○銃砲刀剣類の登録等についてのお問い合せは、横越村公民館へ